

平成25年度緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練の実施

緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練は、大規模災害発生時における緊急消防援助隊の活動技術及び連携活動能力の向上を目的に、平成8年から全国を6ブロックに区分して実施しています。

訓練においては、事前に想定を公表しないブラインド訓練を採用するほか、自衛隊や警察、災害派遣医療チーム（DMAT）等の関係機関に加えて、重機保有団体や災害救助犬団体等との連携訓練を実施するなど、より実戦的な訓練を実施します。

1 訓練実施日・場所等

中止

ブロック	訓練実施場所	訓練実施日
北海道東北	北海道 苫小牧市 他	10月11日（金）～12日（土）
関東	山梨県 富士吉田市 他	10月30日（水）～31日（木）
中部	愛知県 碧南市 他	10月18日（金）～19日（土）
近畿	滋賀県 近江八幡市 他	10月26日（土）～27日（日）
中国・四国	徳島県 那賀町 他	11月 2日（土）～ 3日（日）
九州	沖縄県 西原町・与那原町 他	11月27日（水）～28日（木）

※ **関東ブロック合同訓練は、中止になりました。**

2 訓練の特徴

(1) 広範囲の部隊が集結し、受援・応援体制を検証

- ① 6ブロック合計で約1,000隊（約3,500人）の消防部隊が参加
- ② 受援都道府県は、受援計画に基づき応援部隊の受入れを行い、受援計画を検証
- ③ 応援都道府県は、訓練会場まで部隊参集訓練を行い、応援等実施計画を検証

(2) 実働関係機関などとの連携

- ① 6ブロック合計で約50機関（約1,000人）が参加
- ② 自衛隊、警察、DMATなどの実働関係機関との連携
- ③ 重機保有団体、災害救助犬団体などの民間機関との連携

(3) 悪条件下での訓練

- ① 長期間の活動や被災地に負担をかけないための、自己完結型の後方支援活動訓練
- ② 視認性の悪い夜間の部隊運用訓練

(4) 実災害を想定した、高度な技術を必要とする実践的な訓練

- ① 南海トラフ巨大地震を想定した「津波漂流者救出訓練」や「海底トンネル崩落訓練」
- ② 「トンネル崩落事故救出訓練」などの高度な技術を必要とする訓練
- ③ 石油コンビナート施設を利用して行う「大規模危険物施設災害訓練」

(5) 災害対策本部などのオペレーション訓練

- ① 消防応援活動調整本部において行う、緊急消防援助隊の応援要請や受援のオペレーション訓練
- ② 消防応援活動調整本部と都道府県災害対策本部（警察・自衛隊・DMATなど関係機関参加）が連携して行う、関係機関の活動調整
- ③ 消防庁危機管理センターと連絡調整訓練



連絡先

消防庁 広域応援室

担当 齋藤・佐藤・高池・村主

電話 03-5253-7527

FAX 03-5253-7537